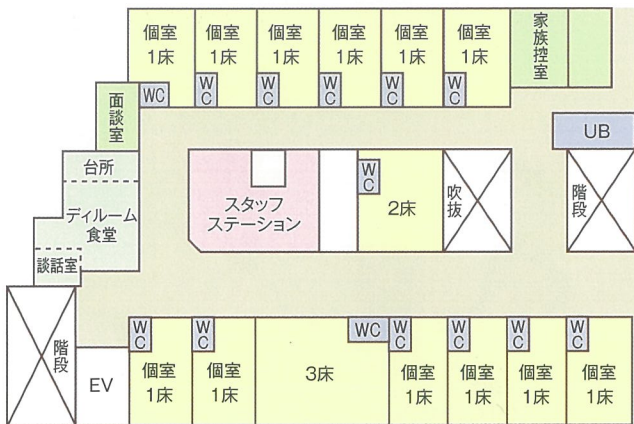


*緩和ケア病棟の基本的な考え方

- ① 痛みをはじめとする、不快な身体症状を緩和します
- ② 精神的、社会的な緩和もふくめた全人的なケアを行います
- ③ がん治療よりも、生命、生活の質の向上を重視したケアを行います
- ④ 亡くなることを、早めることも遅らせることもしません
- ⑤ 死を迎えるまで患者さんが人生を積極的に生きてゆけるよう支援します
- ⑥ ご家族に対しても、精神的なケアで支援します
- ⑦ 在宅療養を希望する方の支援を行います

*緩和ケア病棟フロアガイド



新南館 3F



患者さんにご家族の悩み・不安をともに考え、納得できる選択をするための支援から緩和ケアは、始まります。

*緩和ケア病棟のQ&A

Q1 緩和ケア病棟とは、どんなところですか？

A1 悪性腫瘍の患者さんが対象となります。積極的な化学療法や放射線療法は行いませんが、痛みや吐き気、呼吸困難などのつらい症状や精神的苦痛などに積極的に対応します。多職種チームが生活を支え、リハビリテーションも行え、症状が安定すれば外出・外泊も可能です。ご家族の付き添いや面会の制限はありません。

Q2 病名や病状を知らなくても入院できますか？

A2 原則として、患者さんご本人が病名、病状について真実を知っていることが必要です。患者さん・ご家族の絆や大切な時間を守るためにも、偽りのない、真実のコミュニケーションが図れる関係でありたいと考えています。

Q3 入院期間の制限はあるのですか？

A3 特に制限があるわけではありません。しかし、つらい症状の緩和を目的とした病棟ですので、ご自宅での療養が可能な程度に症状が落ち着いた場合には、ご自宅への退院や他院への転院などのご相談をさせていただくことがあります。

Q4 不安や苦痛について相談できるスタッフはいますか？

A4 一般病棟よりも看護師を多く配属し、患者さんやご家族の抱える疑問、不安、苦痛についてなど、ゆっくりお話しできるようにしております。臨床心理士、薬剤師、栄養士、医療相談員など、それぞれの専門分野のスタッフにもご遠慮なく声をおかけください。

*施設の概要

家庭的な雰囲気ですっきりと過ごしていただけます。



使いやすい昇降式のトイレを装備しています



ディールームにはキッチンを完備してご家族やボランティアの方々が食事やおやつを作ることができます



ゆったりと病状が説明できる面談室



ご家族が宿泊できる家族控室